



よしだ つねしろ

吉田 恒四郎 氏

生年月日 明治42年8月13日生

住 所 田辺市新屋敷町

明治42年(1909年)8月13日、西牟婁郡田辺町(現田辺市中屋敷町)に生まれる。

無限の可能性を秘めた未来のある子どもたち、その子どもたちに夢と希望を与え、清らかで豊かな心を養い育てようとする信念に燃え、50余年もの長きにわたり数多くの実演童話と紙芝居を通し児童文化の振興と青少年の情操教育に貢献、昭和57年(1982年)現在もなお矍鑠(かくしゃく)として活躍されている。

昭和5年(1930年)に「夢と希望と幸福を」を旗印に同志5名と田辺童話会を結成し、童話大会の開催をはじめ各地域における土曜、日曜学校、小学校、幼稚園それに子ども会等へ積極的に赴き、子どもたちに童話を聞かせてまわる一方、昭和10年(1935年)には自塾において童話に親しむ「明朗会」と称する塾生の会を開設して、以来連綿として子どもたちの夢と希望を膨らませ続けてきた。

さらに近年に至って田辺童話会を発展的に改組し、昭和45年(1970年)に紀南童話連盟を新たに結成、青少年の幸福のために日夜励んで来られている。

実演童話あるいは紙芝居などが、持ち前の巧みな話術、表現の豊かさをもって子どもたちの心をとらえ、そして子どもたちが人生を歩いていく上における教訓と示唆となった。この地味でしかも根気のいる一連の活動は、戦前戦中そして戦後の混乱時、さらに経済成長時を通して人びとの心にある時は明るい希望を、ある時は反省と指針を与えたことはいうまでもない。そしてまた、全ての人びとにメルヘンの世界のあたたかさを大切に、それを失うことなくいつまでも親しまれ語り継がれていくことを願い、古くから伝わる童話約200話を「子どもに聞かせるお話」と題して地方紙に紹介し、意欲的な寄稿活動を続けていることは、失いつつある青少年のあたたかい人間味のある心呼び戻す一つの手立てとして貴重である。

また一方、明治8年(1875年)に福路町において珠算塾を開いた故吉田光成氏を祖父とし珠算一家の中で育った氏は、昭和5年(1930年)に父の経営する珠算塾の後継者として多くの子弟に珠算技能の普及と向上の指導にあたられるほか、当市を中心とした百年余にわたる珠算塾の変遷史をまとめあげ紹介されるなど

第 13 回 (昭和 57 年)

珠算の移り変わりの生き字引として、また当地方の珠算界の長老として今なお活躍されており地方文化の向上には欠かせない財産といえる。

(略 歴)

大正 15 年 (1926 年) 3 月	和歌山県立田辺商業学校 (四年課程) 卒業
昭和 5 年 (1930 年) 4 月	吉田珠算研究会教授として父の後を継ぐ
昭和 5 年 (1930 年) 6 月	田辺童話会を結成
昭和 10 年 (1935 年) 4 月	実演童話「明朗会」開設
昭和 12 年 (1937 年) 12 月	昭和幼稚園囑託
昭和 27 年 (1952 年) 11 月	田辺市立田辺第二小学校育友会長
昭和 31 年 (1956 年) 10 月	和歌山県知事認可吉田第二珠算学校長
昭和 33 年 (1958 年) 4 月	和歌山県珠算振興会副会長 田辺市立東陽中学校育友会長
昭和 45 年 (1970 年) 4 月	紀南童話連盟を結成、副会長
昭和 46 年 (1971 年) 4 月	和歌山県各種学校田辺西牟婁支部長
昭和 54 年 (1979 年) 6 月	珠算名誉段位 9 段取得 (文部省認可社団法人全国珠算 学校連盟)
その他	新屋敷町内会顧問 (新屋敷町内会長歴任) 新屋敷町老人会長

(受賞歴)

昭和 48 年 (1973 年) 5 月	感謝状 (社団法人和歌山県計算実務協会名誉会長、日 本珠算連盟会長より珠算教育の振興発展に寄与)
昭和 52 年 (1977 年) 10 月	表彰状 (和歌山県下各種学校長より永年功労による)
昭和 53 年 (1978 年) 9 月	感謝状 (日本珠算連盟名誉会長、日本商工会議所会頭 より連盟の発展に寄与)
昭和 55 年 (1980 年) 10 月	感謝状 (和歌山県知事より私立学校教育の充実振興に 寄与)